



▲活動を振り返り発表する大学生



▲連携して福祉事業を推進します

9月14日、「東北福祉大学プロジェクト実践活動懇談会」を開催しました。

令和6年2月3日、大崎市と東北福祉大学、大崎市社会福祉協議会で、「福祉事業推進に係る連携協定」を締結しました。

本協定に基づき、令和6年度は、東北福祉大学の「プロジェクト実践活動」という授業の一環として、古川地域清滝地区と鹿島台地域姥ヶ沢地区、岩出山地域上野目地区の3地区で、フィールドワークが実施されました。学生は地域住民と交流し、地域の資源や課題などを学ぶとともに、ワークショップを通して解決策を提案しました。

懇談会当日は、プロジェクト実践活動に取り組んだ学生や受け入れた地域住民、学生と地域をつないだ大崎市社会福祉協議会職員が参加し、活動報告などを行いました。

学生からは、「子どもや若い世代が地域とのつながりを持つことが重要」「学校の活用策を具体化して実施できた」などの感想が述べられました。

また住民からは、「学生からの提案を今後の地域づくりに生かしていきたい」などの感想が伝えられました。

今後も協定に基づき、福祉事業の推進に向けて三者で連携し取り組んでいきます。

「東北福祉大学プロジェクト実践活動懇談会」を開催しました

第37回大崎バルーンフェスティバル

問 大崎バルーンフェスティバル実行委員会事務局
(岩出山総合支所地域振興課内) ☎72-1211

世界農業遺産「大崎耕土」に広がる秋の澄み切った大空に、色とりどりのバルーンが浮かぶ幻想的な光景を楽しみませんか。

日時 11月16日(出)・17日(日) ①熱気球フライト：6時30分～②係留気球体験試乗：7時30分～③パワードパラグライダー：9時～④小型飛行機デモフライト：11時～

場所 岩出山江合川河川公園

定員 ②先着150人(各日)

※①③④は見学のみです。

駐車場 岩出山総合支所

※気象状況により、中止・変更する場合があります。



▲大空に飛び立つバルーン

音楽が聞こえる都市づくり ～バルーン音楽広場～

問 岩出山文化会館(スコーレハウス) ☎72-0357

大崎バルーンフェスティバルを楽しんだ後は、音楽に癒やされませんか。

日時 11月16日(出) 開演11時、13時(2回公演)

場所 岩出山文化会館(スコーレハウス)ロビー

出演 古川シンフォニックウインズ

定員 100人(全席自由)

多賀城創建1300年記念講演会 「多賀城創建を支えた大崎地方」

問 文化財課調査担当 ☎23-2214

国府多賀城創建に深く関わった本市の国指定史跡「大吉山瓦窯跡」などについての講演のほか、国府多賀城で使われた瓦の展示をします。

日時 11月24日(日) 13時15分～15時30分(開場12時45分)

場所 図書館(来楽里ホール)多目的ホール

定員 100人程度(要申込)

申込 電話(平日9時～17時)または申込

フォームで申し込み

▶重弁蓮華文軒丸瓦
(大吉山瓦窯跡出土・大崎市教育委員会所蔵)



令和7年大崎市新年祝賀会

問 秘書広報課秘書・調整担当 ☎23-5023

新年が輝かしい年になるよう、皆さんで祝いましょう!

日時 令和7年1月6日(月) 開会17時30分

場所 アインパル浦島(古川李塚)

対象 市民、大崎市に関わりのある人

料金 4,000円

申込 11月1日(金)から12月6日(金)まで、料金を添えて申し込み

申込先 秘書広報課(市役所本庁舎4階南側)、各総合支所地域振興課、古川商工会議所、大崎商工会、玉造商工会、古川農業協同組合、新みやぎ農業協同組合(みどりの統括部・栗っこいわでやま統括部)



▲鏡開きで新年の訪れを祝います

まちの話題や
出来事、
ニュースを
お届けします!

CITY TOPICS



8月1日、一般社団法人日本視聴覚教育協会主催の「令和6年全国自作視聴覚教材コンクール」において、本市の「交通安全紙芝居『ブレーメンのおんがくたい』」が見事入選を果たしました。

本コンクールは、学習方法などの多様化に伴い、学校や地域での自作教材の企画制作・活用を促進する目的で行われています。本市の作品は、全国からの応募総数66作品のうち、小学校部門(幼稚園および保育所を含む)18作品の中で入選となりました。

また9月20日には、「令和6年秋の交通安全県民総ぐるみ運動」の「街頭キャンペーン出動式」が開催されました。

出動式には、古川警察署の警察官や古川地区交通安全協会など、関係機関・団体から約200人が集まりました。あいにくの雨ではありませんでしたが、市役所本庁舎正面玄関前でパトロールカーを見送りしました。出動式を皮切りに21日から30日まで、10日間にわたる総ぐるみ運動で、交通安全の普及や事故防止の徹底などを地域住民に呼びかけました。



▲出動するパトロールカーを見送りました



▲交通安全紙芝居「ブレーメンのおんがくたい」

交通安全の啓発に取り組んでいます

地域住民の安全を守るためには、一人一人の交通安全意識の向上が不可欠です。日頃から交通ルールとマナーを守って、事故防止を心がけましょう。